

名古屋大学全体としても、次のような相談窓口を設けています。

3 就職相談コーナー

工学部7号館B棟2F・学生相談総合センターでは、専門的な知識・経験をもつ相談員による就職相談コーナーを開設しています。

◎開設日時 HPを参照のこと
<http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/gakuso/ccs/ccs.html>

就職活動にあたっては、日頃から自分の人生の目標・職業観についてよく考え、自分の適性にあった職業が選択できるよう積極的に行動することが望まれます。企業や官庁などは、人材採用にあたって、次のような人物評価の基準を挙げています。

- (1) 学業成績の優秀さ (2) 誠実な人柄 (3) 積極性に富んだ性格
- (4) 豊かな創造性 (5) 変化に対応できる柔軟性
- (6) 特技・特色・個性 (7) 仕事内容にこだわらない柔軟性

4 インターンシップ

インターンシップとは、学生が在学中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した企業等で就業体験を行うことです。インターンシップを行うことで、職業適性や将来設計について考える契機となったり、職業に対する理解を深めることが期待されます。積極的にインターンシップに参加することを勧めます。

インターンシップに参加しその効果を得るためには、いくつかの約束ごとがあるので以下をよく守ってください。インターンシップでは、受け入れ企業等と参加学生とのマッチングが重要です。受け入れ企業の情報などをHPなどでよく調べてから、教務学生係と相談してください。インターンシップの情報は早めにチェックすることが大切です。インターンシップの実施時期は通常7～9月で、期間は2週間以上になります。原則、東海地域での研修となりますが、それ以外の地域でも可能な場合もあります。インターンシップに参加するためには、5月から実施される事前研修会に全て参加して、企業等で実際に活動するために要求されるルールやマナーを学ぶことが必要です。

教育職員免許状をとりたい人のために

情報文化学部では以下のような教育職員免許状を取得できます。

[自然情報学科]

- ◎中学校教諭一種免許状の「数学」
- ◎高等学校教諭一種免許状の「数学」・「情報」

[社会システム情報学科]

- ◎中学校教諭一種免許状の「社会」
- ◎高等学校教諭一種免許状の「公民」・「情報」

ここでは、1年次のうちに知っておいてほしいことに限って述べておきましょう。また、全学部向けの『教職課程の手引』、『名古屋大学学生便覧』にも、教育職員免許状取得についての説明が掲載されています。そちらも参照してください。

1 まず、教職課程については、教育実習など学外の方々に協力をお願いすることになります。また、教職に関する多くの単位を修得しなければなりません。まず、自分が教職に対して強い熱意をもっているかどうかを考えて、中途半端な気持ちで取り組まないようにしてください。

(e) 介護等体験

中学校教諭免許状(一種)を取得しようとする場合、7日間の社会福祉施設・特殊教育諸学校などでの介護体験等が必要です。これは、原則として3年次(特別の理由があるときのみ2年次)に行いますから、実施の前年度10月に申し込みをしてください。詳細は、教務学生係に問い合わせてください。

(f) 教職実践演習

教育職員免許法等の改正に伴い新設されました。教職関連科目の履修状況を踏まえ、教員としての必要な知識技能を修得したことを確認するとともに、教職課程の総まとめとして位置付けられています。

(g) 履修カルテ

平成22年度入学生から作成が必要になったものです。教職課程の履修初期段階(1年次後期)から、学生自身で随時作成していくもので、教職を志す意志や教職関連科目の修得状況を随時記録します。
2年次、3年次、4年次の各第1学期の成績発表後の指定期日までに、教務学生係に提出することになります。各自で管理することになりますので、必ず電子データのバックアップを取るようしてください。

(h) 教職に関する科目 これは以下の表にしたがって修得してください。

教育職員免許法施行規則に定める教職に関する科目群		必要修得単位数		本学における開講科目名	開講単位
教職に関する科目	左記科目に含めることが必要な事項	中学校教諭免許状	高等学校教諭免許状		
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2	教 職 基 礎 論	2
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	教 育 原 理	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教 育 心 理 学	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教 育 制 度 論	2

教育職員免許法施行規則に定める教職に関する科目群		必要修得単位数		本学における開講科目名	開講単位
教職に関する科目	左記科目に含めることが必要な事項	中学校教諭免許状	高等学校教諭免許状		
教育課程及び指導法に関する科目(b)	教育課程の意義及び編成の方法	12	10	教 育 課 程 論	2
	各教科の指導法(b)			社会科教育法Ⅰ	2
				社会科教育法Ⅱ	2
				社会科教育法Ⅲ	2
				社会科教育法Ⅳ	2
				公民科教育法Ⅰ	2
				公民科教育法Ⅱ	2
生活指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	4	4	数 学 科 教 育 法 Ⅰ	2
	特別活動の指導法			数 学 科 教 育 法 Ⅱ	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			数 学 科 教 育 法 Ⅲ	2
				数 学 科 教 育 法 Ⅳ	2
					情 報 科 教 育 法 Ⅰ
	生活指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)	4
教 科 外 教 育 論		2			
教育実習		5	3	教 育 方 法 論	2
				生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2
教育実習		5	3	教 育 実 習 (事前・事後指導の1単位を含む。)	5 (中学) 3 (高校)
教職実践演習		2	2	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2
必要修得単位数合計		31	27		

(a) 「道徳教育の理論と実践」については、中学校教諭免許状取得希望者のみ取得が必要です。
 (b) 「各教科の指導法」は自分が免許を取得したい科目のうち、各教科教育法Ⅰ～Ⅳまで開講している科目については、必ず「○○科教育法Ⅰ及びⅢから2単位、Ⅱ及びⅣから2単位(合計4単位)を修得すること。Ⅰ及びⅡのみ開講している科目については「○○科教育法Ⅰ及びⅡ」の各2単位(合計4単位)を修得すること。なお、各教科教育法Ⅰ～Ⅳは隔年開講であるため、当該年度の開講状況については、当該年度の開講一覧を確認すること。高等学校教諭免許状のみを取得したい人は、この「各教科の指導法」4単位と、「教育課程論」「教科外教育論」「教育方法論」の計6単位で、あわせて10単位になります。中学校教諭免許状も取得したい人は、これにさらに「道徳教育の理論と実践」2単位を加えて、12単位になります。
 (c) 教職に関する科目の開講時期や時間割などは、情報文化学部の時間割には表示されませんから、自分で調べて間違いのないようしてください。

5 教育実習についての注意

◎教職課程に欠くことができない重要な科目です。ほかの単位では代えることができません。したがって、必ず所定の期間に申し込みをし、4年次に単位を取得してください。

◎教育実習は、中学校教諭免許状希望の場合は3週間5単位、高等学校教諭免許状希望の場合は2週間3単位を履修することになります。中学校と高等学校の両方の免許状を取得しようとする場合は、3週間5単位の教育実習を履修してください。

◎教育実習の修得単位には、名古屋大学で行われる「事前・事後指導」1単位が含まれていますので、必ず参加してください。出席しない者には教育実習の単位が認定されません。事前指導は、実習を実施する年の4月、事後指導はその年の11月頃に行われます。

◎教育実習の参加申し込みは、実施の前年の5月～10月の間に行ってください。近年、教育実習の参加申し込みが多数のため、実習が行えない場合があります。3年次になったら、夏休み終了までに出身高等学校などに出向き、4年次に教育実習が受けられるようにあらかじめ内諾を得ておいてください。

6 免許状の申請手続き

9月頃に掲示などにより通知します。

7 「教科に関する科目」については、自分の取得したい免許の種類に応じて次ページからの表のように単位を修得してください。○印のついた科目は必ず修得し、修得免許状に応じて、100ページ[表1]記載単位数を修得してください。また他学部・他学科で認定されている科目も「教科に関する科目」の単位として取得できます。

8 最後に

実際に教職に就くには、免許状を取得するだけでなく、各機関で実施される教員採用試験に合格しなければなりません。早い時期から周到に履修計画を立てるとともに、教員という仕事の責任の重さを自覚し、不断の努力を重ねてください。

(a) 中学校一種「数学」、高校一種「数学」のための教科に関する科目

教科に関する科目の区分	授業科目	単位数
代数学	○★線形代数学Ⅰ 数理情報学2 数理情報学6 数理情報学実習 ★線形代数学Ⅱ	すべて各2単位です
幾何学	○数理情報学1	
解析学	○★微分積分学Ⅰ ○★微分積分学Ⅱ 数理情報学3 数理情報学7 数理情報学演習1 数理情報学演習2 数理情報学演習3 数理情報学演習4	
「確率論、統計学」	○数理情報学5 数理情報学8 数理情報学9	
コンピュータ	○計算情報学1 数理情報学4	

【注】① 各区分ごとに、○印のついた科目を修得してください。○印のついた科目を含め、修得免許状に応じて100ページ[表1]記載の科目数が必要となります。

② ★印のついた科目は全学教育科目で教職に関する科目として認定されるものです。

(b) 自然情報学科で認定されている高校一種「情報」のための教科に関する科目

教科に関する科目の区分	授業科目	単位数
情報社会及び情報倫理	○情報倫理と法 サイバー文化論 情報哲学の展開2	すべて各2単位です
コンピュータ及び情報処理(実習を含む)	計算情報学3 △環境物質学実験1 △複雑系科学演習1 複雑系科学実験1 複雑系科学実験2	
情報システム(実習を含む)	○計算情報学6 環境科学概論 環境物質学3	
情報通信ネットワーク(実習を含む)	○ネットワーク基礎 ネットワーク社会 クリエイティブ・ネットワーキング 情報デザイン	
マルチメディア表現及び技術(実習を含む)	○計算情報学2 計算情報学4 計算情報学5	
情報と職業	○情報と職業1 情報と職業2	

【注】① 各区分ごとに、○印のついた科目を修得してください。○印のついた科目を含め、修得免許状に応じて100ページ[表1]記載の科目数が必要となります。なお、コンピュータ及び情報処理の区分については△印のついた科目から1科目を必ず履修してください。

(c) 社会システム情報学科で認定されている高校一種「情報」のための教科に関する科目

教科に関する科目の区分	授業科目	単位数
情報社会及び情報倫理	△サイバー文化論 △情報哲学の展開2 社会の中の科学技術 情報哲学の展開1	すべて各2単位です
コンピュータ及び情報処理(実習を含む)	○プログラミング1 ○プログラミング2 複雑系科学入門 論理学(計算論) アルゴリズム シミュレーション科学入門 システム論の基礎	
情報システム(実習を含む)	○情報システム	
情報通信ネットワーク(実習を含む)	○メディア社会系特論2	
マルチメディア表現及び技術(実習を含む)	○映像メディア論 メディアアート論 メディア社会系特論1 メディア社会系特論3	
情報と職業	○情報と職業1 情報と職業2	

【注】① 各区分ごとに、○印のついた科目を修得してください。
○印のついた科目を含め、修得免許状に応じて100ページ[表1]記載の科目数が必要となります。なお、情報社会及び情報倫理の区分については△印のついた科目から1科目を必ず履修してください。

(d) 中学校一種「社会」、または高校一種「公民」のための教科に関する科目

教科に関する科目の区分	授業科目	単位数	
中一種免(社会)	日本史及び外国史	○★歴史学 ★国際関係論 ★民主主義の歴史と現在 国際環境と政治・外交 環境政治	すべて各2単位です
	地理学(地誌を含む)	○地理空間論 地域環境論 地域変動論	
高一種免(公民)	「法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)」	○公法 国際法と環境 環境法 国際環境行政論	
	「社会学、経済学(国際経済を含む)」	△社会学概論 △経済解析1 リスク社会論 応用経済分析1 応用経済分析2 経済解析2	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	△情報の哲学 △認知心理学 臨床心理学 社会心理学 ★哲学 ★科学・技術の哲学 ★心理学I ★心理学II 認知神経科学 応用認知心理学 心理学研究法1	

【注】① 「社会」と「公民」では教科に関する科目に違いがありますから注意してください。
② 各区分ごとに、○印のついた科目を修得してください。○印のついた科目を含め、修得免許状に応じて100ページ[表1]記載の科目数が必要となります。
③ ★印のついた科目は全学教育科目で教職に関する科目として認定されるものです。
④ 下線は高一種免のみ認定されている科目です。
⑤ 「社会学、経済学(国際経済を含む)」の区分については△印のついた科目から1科目を必ず履修してください。
⑥ 【公民】では「哲学、倫理学、宗教学、心理学」の区分について△印のついた科目から1科目を必ず履修してください。【社会】では「哲学、倫理学、宗教学」の区分について「情報の哲学」を必ず履修してください。

大学院へ進学したい人のために

【環境学研究科と情報科学研究科】

名古屋大学にはいくつかの大学院研究科がありますが、その中で情報化学部と特に関係の深い研究科が、2001年度に創設された環境学研究科と2003年度に創設された情報科学研究科です。情報文化学部の教員はすべて、このいずれかの大学院の専任教員でもあり、教員の所属する大学院と情報文化学部の教育系との間には次のような対応関係があります。

【環境学研究科】
⇒環境システム系・環境法経システム系・社会地域環境系・心理システム系
【情報科学研究科】
⇒複雑システム系・数理情報系・メディア社会系

というわけで、情報文化学部で学んだ専門領域やその関連分野についてもっと深く学びたい学生は、卒業後これらの研究科に進学することによって、連続性を失うことなくさらに高度で創造的な研究を進めていくことができます。

大学院は博士前期課程と博士後期課程に分かれています。

(1) 博士前期課程は、一般に「マスターコース」とも呼ばれ、この課程に入学し修了した学生には、修士の学位が授与されます。この課程は通常2年の課程ですが、特に優秀な学生の場合、審査により1年で修了することも可能です。博士前期課程を修了した学生は、企業・行政機関等に就職するほか、博士後期課程の入学試験を受け進学するという道があります。

(2) 博士後期課程は、一般に「ドクターコース」とも呼ばれ、この課程に入学し修了した学生には、博士の学位が授与されます。これは3年の課程ですが、優れた研究を行った学生は、期間を短縮して博士号を取得することもできます。